

豊かな自然、歴史、文化のふるさと

「ひがししらかわ」で

“地域医療体験”と“地域の皆様との交流”を



研修日：平成25年3月12日（火）～13日（水）

福島県 県南保健福祉事務所

福島県の地域医療の現状がどのようなものであるか、自分の目で見て知りたい。

将来、自分がその担い手になるために、意識を高く保つためにも、その現場の様子を見学して

何か一つでも自分の糧となるような経験をしたい。

(参加者事前アンケートより)





# 目次

- 「ひがししらかわ」について
  - 研修スケジュール
- 

## 【第1日 3月12日（火）】

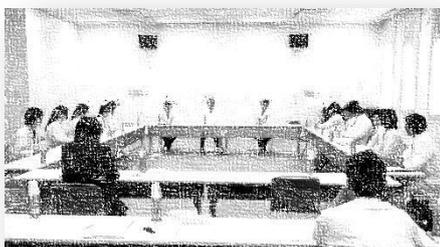


- 県南保健福祉事務所
- 金澤医院
- 訪問診療同行
- 福島県厚生農業組合連合会 塙厚生病院
- 医療従事者との懇談会

## 【第2日 3月13日（水）】



- 特別養護老人ホーム ユーアイホーム
  - 吉田富三記念館
  - 福島県厚生農業組合連合会 白河厚生総合病院
  - 臨床研修医との懇談会
- 



- 県南地区研修マップ
- 研修参加者の声
- 実施要領

# 「ひがししらかわ」について



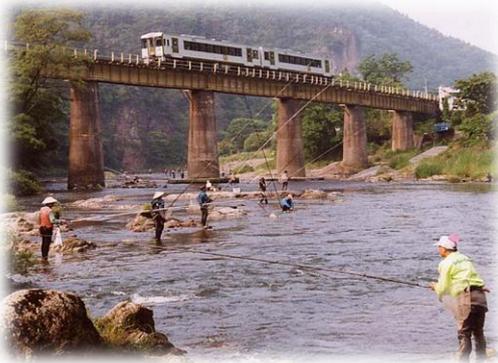
みなもん(源流の里づくりシンボルキャラクター)



☆「ひがししらかわ」  
棚倉町、矢祭町、埴町、  
鮫川村の東白川郡の  
4町村の総称です。

## やまつりまち 矢祭町

●「合併しない宣言」で全国的に話題になりました。春には矢祭山のつつじが咲き誇り、久慈川での鮎釣りも楽しめます。県の最南端で、雪の少ない温暖な地域です。



## はなわまち 埴町

●町の総面積の8割を山林が占める豊かな緑の町です。町の中心を久慈川が縦断し、四季折々に美しい渓谷が楽しめます。また、8月から10月にかけてダリア園が開園します。



(県南地方振興局 HP より転載使用)

## 地域医療体験研修（冬期）スケジュール

月 日	内 容	場 所、行 程	地 域 名
平成25年 3月12日 (火)	JR 福島駅出発→福島県立医科大学経由→JR 新白河駅		
	オリエンテーション	県南保健福祉事務所	白河市
	視察	金澤医院	矢祭町
	訪問診療同行	矢祭町内	
	視察	福島県厚生農業組合連合会 塙厚生病院	塙町
	医療従事者との懇談会	東館温泉 ユーパル矢祭	矢祭町
	宿泊		
3月13日 (水)	視察・回診同行	特別養護老人ホーム ユーアイホーム	
	見学	吉田富三記念館	浅川町
	視察	福島県厚生農業組合連合会	白河市
	臨床研修医との懇談会	白河厚生総合病院	
	JR 新白河駅→福島県立医科大学経由→JR 福島駅到着		

☆研修中は貸切バスで移動しました。



# 県南保健福祉事務所



大谷晃司

福医大医療人育成・支援センター  
副部門長兼准教授



☆オリエンテーション☆  
研修スケジュールの確認や県南地域の概要について説明を受け、各自己紹介や事務所内の見学を行いました。



佐久間光太郎

福医大医療人育成・支援センター助手

☆この研修に参加するまでは、地域医療に関して「負」のイメージを持っていました。しかしながら、地域医療とはそれぞれの地域のニーズに合わせた医療を提供することだと認識しました。

(秋田大学医学部1年生)

☆今回の経験は福島県の東白川地域についてよく知れるだけでなく、地域医療を考える際の視野が何倍にも広がったように感じます。

(福島県立医科大学医学部4年生)



日時：3月12日(火) 10:45~11:15

住所：〒961-0074 白河市郭内 127

代表者名：所長 加藤清司

TEL：0248-22-5441 (代表)

[http://www.cms.pref.fukushima.jp/pcp\\_portal/contents?CONTENTS\\_ID=11008](http://www.cms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11008)

かなざわ  
金澤医院



☆懇談・視察☆

地域医療に従事する金澤  
寛院長はじめ医療スタッ  
フの方々と懇談し、診療  
室や薬局、病棟の視察を  
行いました。

☆地域の高齢者の健康を守る医師と  
して、家族や本人への心配りや方針  
立てを大切に、最期を看取るまで  
の支援をする基盤をしっかり作られ  
ていました。また、この診療所で働  
いている全てのコ・メディカルの  
方々の話が聞けたことは大変貴重な  
体験となりました。

(福島県立医科大学医学部4年生)



金澤寛 院長



日時：3月12日(火) 13:30~14:30

住所：〒963-5118

東白川郡矢祭町大字東館字反田 13-1

代表者名：院長 金澤寛

TEL：0247-46-2312

<http://kanazawa2312.byoinnavi.jp/pc/>

診療科目：内科・外科・小児科



# 訪問診療同行



金澤寛医師の訪問診療（矢祭町内の家庭）に同行し、高齢者の生活や在宅介護等、地域医療の現場を知りました。



☆大学の授業では中々体験できることなく、地域の患者さんの生活風景や家族背景の一端を見ることができました。  
（鳥取大学医学部4年生）

☆地域の実情や訪問診療の良い所、そして大変な所を知ることができました。  
（福島県立医科大学医学部4年生）



日時：3月12日（火）14：30～15：30  
訪問先：東白川郡矢祭町内  
訪問診療医師：金澤医院 院長 金澤寛

## 塙厚生病院



### ☆懇談・視察☆

病院長より、東白川地域の医療の現状について説明を受け、医療スタッフの誘導で病院内の視察を行いました。



佐川恵一 病院長

☆最も学んだのは、地域の小さい診療所や病院との密な連携です。患者さんのかかりつけ医師と情報を共有し、設備や病状に合わせて治療や転院を協力し合うことが大事とわかりました。どの地域で働くとしても、その病院のある地域の医療の事情に精通しておくことも、患者さんと向き合う上で必要と感じました。

(福島県立医科大学医学部4年生)

日時：3月12日(火) 16:00~17:30

住所：〒963-5493 東白川郡塙町大字塙字大町 1-5

代表者名：病院長 佐川恵一

TEL：0247-43-1145

<http://www.hanawa-fkousei.jp>

診療科目：内科・消化器科・循環器科・神経内科・小児科・精神科

・心療内科・神経科・外科・肛門科・整形外科・脳神経外科

・リウマチ科・アレルギー科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科

・皮膚科・泌尿器科・放射線科・リハビリテーション科



# 医療従事者との懇談会



☆副座長☆  
佐久間光太郎  
福医大医療人育成  
・支援センター助手



金澤寛 金澤医院長



佐川恵一 埴厚生病院長



☆座長☆  
大谷晃司  
福医大医療人育成  
・支援センター副部門長

地域医療に従事する医師と医学生が「地域医療」をテーマに課題や問題点について、討論を繰り広げました。



☆多くの先生や先輩の様々な意見を聞くことができ、さらに視野を広げることができた。

(福島県立医科大学医学部4年生)

☆地域医療だけに留まらず、卒業後の進路について(臨床研修制度、専門性や医局など)の話も聞けて、少し将来の道が開けたと思う。

(福島県立医科大学医学部4年生)



日時：3月12日(火) 18:00~19:30  
場所：矢祭町 東館温泉 ユーパール矢祭 小会議室  
講演：「地域医療の現状について」

金澤医院 院長 金澤寛

埴厚生病院 病院長 佐川恵一

自由討論：①地域医療に従事する医師の実状  
②地域医療の課題・問題点  
③地域医療の確保に向けての提案

特別養護老人ホーム  
ユーアイホーム



☆懇談・視察☆

施設の概要や入居待機者の現状等の説明を受け、嘱託医師に同行し、施設利用者への回診見学を行いました。



金澤健至 施設長



金澤寛 嘱託医師



☆地域の介護施設の実情を知り、医療と介護とが密接に関わりながら、地域住民をサポートしていることが理解できた。入所の方と触れ合う時間は貴重であった。金澤施設長より、地域の将来について課題を教えていただいた。

(秋田大学医学部1年生)

日時：3月13日(水) 8:40~9:40

住所：〒963-5118

東白川郡矢祭町大字東館字蔵屋敷 122

代表者名：社会福祉法人矢祭福祉会 施設長 金澤健至

施設嘱託医師：金澤医院 院長 金澤寛

TEL：0247-46-3385

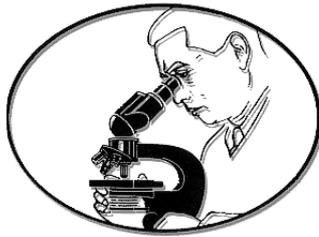
<http://www.yu-ai.org/info/>



とみぞう  
吉田富三記念館



吉田富三博士



内田宗寿 館長

☆館長講話・館内見学☆  
「がん研究」の先導者吉田富三博士の功績、研究室の再現や、博士のプライベートライフ等の説明を受けました。

☆博士の業績やその生き様が浮かび上がるような充実した展示がなされていました。博士は日本の国語教育にも重大な提言をするなど、視野の広い人物だったことを知りました。  
(秋田大学医学部1年生)



日時：3月13日（水）10：15～11：15

住所：〒963-7788

石川郡浅川町大字袖山字森下 287

代表者名：名誉館長 内田宗寿

TEL：0247-36-4129

<http://www.tomizo.or.jp>



福島県厚生農業組合連合会  
白河厚生総合病院



☆視察☆

施設の概要説明を受けた後、病院内の PET 画像診断センターやリハビリテーションセンター等、高度な医療設備の視察を行いました。



佐久間雅樹 事務長



☆県南地域の唯一の総合病院であり二次救急を担当しながら、大規模病院が中心となりながら、医療機関の協力体制を図り、地域医療の根底を支えていることが認識できた。リハビリ設備や小児病棟が充実していて、素晴らしい拠点病院施設でした。

(福島県立医科大学医学部4年生)

日時：3月13日(水) 13:30~14:00

住所：〒961-0005 白河市豊地上弥次郎2-1

代表者名：病院長 前原和平

Tel：0248-22-2211

<http://www.shirakawa-kosei.jp/>



# 臨床研修医との懇談会



☆座長☆

佐久間光太郎

福医大医療人育成

・支援センター助手



高木玄教  
臨床研修医



前原和平  
病院長



大村健介  
臨床研修医



加藤正和  
福島県 県南保健福祉事務所  
副所長

県南地域の中核病院で初期研修を受ける二人の研修医と懇談し、地域医療に従事する目標等をお聞きしました。



☆我々の質問に対して、研修医の先生の率直な意見と、病院の内部や病院長の具体的な意見も合わせて聞くことができました。また、研修病院の決定理由を聞いたことが、大変参考となりました。  
(福島県立医科大学医学部4年生)



日時：3月13日（水）14：00～15：00  
場所：白河市 白河厚生総合病院 2F 大会議室  
挨拶：白河厚生総合病院 病院長 前原和平  
県南保健福祉事務所 副所長 加藤正和



# 福島県 県南地区 地域医療体験研修（冬期）マップ



白河厚生総合病院



県南保健福祉事務所



吉田富三記念館（浅川町）



塙厚生病院



特別養護老人ホーム ユーアイホーム



訪問診療先  
（矢祭町内）



東館温泉 ユーパル矢祭



金澤医院



## 地域医療体験研修参加者の声

### ☆平成24年度冬期研修☆ 山形大学医学部1年 渡邊直美さん



今回の研修で強く感じたことは“コミュニケーション力の大切さ”でした。地域医療という、地域に密着した医療であるがゆえにより強く、このことを感じたのかもしれませんが。患者さんとの会話の中から不安や変化を読み取り、安心をもたらすような会話をするのが、医療行為以上に大切なことなのではないかと思います。日頃、大学の授業では知識の吸収ばかりで、患者さんや他の医療従事者との交流が余りないのが現状です。今回の研修を通して、他の医療従事者とのコミュニケーションを取りながら、患者さんに対して最善の医療を行う体制を作りながら、“言葉”という最も人を動かす力をもつツールを使い、知識や技術で作上げた最善の医療を、目の前にいる一人の患者さんにとって最も適した医療へと押し上げていかねばならないのだと強く感じました。このような研修は大学の授業では学べない多くの事を学べる、大切な機会だと思います。今後も積極的に参加していきたいと思っています。

### ☆平成24年度冬期研修☆ 秋田大学医学部1年 丸藤雅大さん



このプロジェクトでは、病院という一つの「点」のみならず、行政や福祉保健も加えた全体的な「面」としての地域医療を多く体感することができました。金澤医院で非常に驚くことができました。医院の待合室で「〇〇さんは、今日は風邪をひいたから来ないよ。」という会話を耳にしたことです。本来であれば「風邪をひいたから医院に来る。」というのが正しいはずで、その会話の意味がよく分かりませんでした。後で聞くと、待合室が町のサロンの役割も担っており、町のお年寄り達の憩いの場になっているとのこと。金澤先生がとても地域の方々に親しまれていることを実感した瞬間でした。靖厚生病院の佐川病院長より、日本のこれからの医療に何が必要なのかということをお聞きしました。「今後日本ではますます少子高齢化が進み、人口に対する高齢者の割合が増えていく。高齢者は、必然的に受診する機会が多くなるため医療者の需要が増加する。その結果、特定の地域のみならず、全国的に医師が不足する所が出てくる。その不足を補うためには、医師同士のみならず医療保健福祉の従事者との横の連携を強固にしていく必要がある。」ことを学びました。また、特別養護老人ホームでは職員として医師を1人必ず配置しなくてはならないため、地域の医師がいなくなると、その地域の福祉にも影響があることを学びました。同ホームでは金澤先生が嘱託医として働いており、入居の方が臨終を迎えられた際、金澤先生の「良い人生でしたね。」という言葉や、家族や福祉職員への「大変だったね、お疲れ様。」というねぎらいの言葉が家族や職員の大きな支えになっている、とのことでした。白河厚生総合病院での臨床研修医の方々との懇談会に出席し、実際に臨床研修を行っている先生方の生の話を伺い、自分の将来のキャリアについて少し具体的に考えるようになりました。この2日間の研修は、非常に充実した内容の濃いものでした。指導していただいた先生方、福島県県南保健福祉事務所の皆様、1年生である私に様々なことを丁寧に教えて下さった先輩方に心から感謝したいと思います。ありがとうございました。

1 研修の目的

地域医療に関心を持つ医学生を対象に、地域医療の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、東白川地域における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらうことを目的とする。

2 開催日

平成25年3月12日（火）～13日（水）〔1泊2日〕

3 対象者

地域医療に関心を持つ医学部学生

4 募集定員

5名以内

5 研修内容

（1）地域医療現場の視察

東白川地域等の診療現場を視察する。

（2）地域医療に従事する医師との懇談会

地域医療に従事する医師から、地域医療に対する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行う。

（3）地域住民との交流

地域住民との交流を通し、地域の実情について理解を深める。

6 宿泊場所

東白川郡内宿泊施設等 ※宿泊費は県負担

7 集合・解散場所

JR 福島駅、福島県立医科大学、JR 新白河駅 ※借上バスで移動

8 申込み方法

（1）当所ホームページの地域医療体験研修かんたん申込フォームより申込

（2）FAX または電子メールにより下記あて申込書を送付（電話でも可）

※定員になり次第締め切ります。

9 問い合わせ・申込先

福島県県南保健福祉事務所 総務企画部 総務企画課

電話 0248-22-5447 FAX 0248-22-5451

E-mail kennan.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp

福島県県南保健福祉事務所ホームページ

[http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp\\_portal/contents?CONTENTS\\_ID=11008](http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11008)



☆道の駅はなわ“天領の郷”での昼食時、和やかな雰囲気・・・“ほっと”一息

## 研修参加者（平成24年度冬期まで）

福島県県南保健福祉事務所

大学名	参加者数	学年（参加時）						性別	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	男性	女性
福島県立医科大学	21	3	2	1	11	4		11	10
獨協医科大学	4		3	1				2	2
帝京大学	3		2	1				3	
山形大学	2	2						1	1
秋田大学	2	2						2	
東北大学	1	1						1	
北里大学	1			1					1
東京大学	1						1	1	
群馬大学	1		1					1	
鳥取大学	1				1			1	
(人)	37	8	8	4	15	4	1	23	14

出身都県	福島	東京	山形	埼玉	茨城	栃木	神奈川	群馬	千葉	大阪	和歌山	鳥取	島根
		15	4	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1

地域医療とは地域密着であり、患者さんは近所であり、知り合いであることも多い。

地域住民たちとの関係を密にしながら働く医師は、とても充実している印象を受けた。

以前の私は、避地医療に赴くなど考えることもなかった……。

今では地域医療のために避地に行くのも良いのではないかと思えるようになった。

私自身の考え方の変化が、この研修の中で最も驚きであった……。

(参加者事後アンケートより)



## 医師及び医師を志す学生の皆さまへ



東日本大震災から1年が経過した今なお、地震、津波、原子力発電所の事故、それに伴う風評被害は本県に甚大な影響を及ぼしており、地域医療についても例外ではありません。本県は、国内外から心温まる多大な御支援をいただきながら、県民や関係団体を始め県、市町村などあらゆる主体が一丸となり、一日も早くふるさと福島を立て直すため、全力で取り組んでいるところです。県民、とりわけ本県の未来を担う子ども達が安心して伸び伸びと暮らす福島県を築くためには、地域医療提供体制の再構築は極めて重要であり、特に医師を始めとする医療従事者の皆さんのお力が不可欠であると考えて

おります。このような状況の中、県では、医師不足や地域偏在の解消に向けた施策を強化するため、平成23年12月に福島県地域医療支援センターを開設するとともに、新たに全県域を対象とした地域医療再生計画及び浜通り地方医療復興計画を策定し、地域医療を担う医療従事者の流出防止や育成、県外からの招へい等に取り組み、さらには、医療施設の復旧や機能の強化を進め、医療体制の回復を図っているところです。日本を代表する医聖、野口英世博士が生まれ育った福島県。復旧・復興までには、まだ多くの時間を必要とするかもしれませんが、「ふくしまからはじめよう。」を合言葉に、新生ふくしまの創造に向けて歩んでまいります。皆さんとともに、本県の地域医療の復旧・復興を進めてまいりたいと考えておりますので、是非ともお力添えくださることを、心より願っております。

福島県知事 佐藤 雄平

福島県 地域医療体験研修 検索

Click

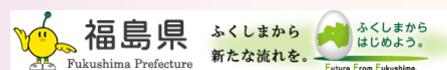


☆「ひがししらかわ」  
棚倉町、矢祭町、塙町、  
鮫川村の東白川郡の  
4町村の総称です。

平成24年度

地域医療体験研修（冬期）事業実績写真集

平成25年3月29日 発行



福島県 県南保健福祉事務所

総務企画部 総務企画課

電話番号 0248-22-5447

FAX 0248-22-5451

You Tube



facebook



[http://www.cms.pref.fukushima.jp/pcp\\_portal/contents?CONTENTS\\_ID=11008](http://www.cms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11008)